

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校水戸 ビューティカレッジ	平成15年3月25日	八文字 典昭	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-14 (電話) 029-228-2188			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人八文字学園	昭和57年4月1日	八文字 蓉子	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-18 (電話) 029-221-8771			
目 的	トータルビューティを基本理念として、美容師のサロンワークに必要な技術や知識又、エステ、ネイル、メイク等も総合的に学習し、即戦力の人材育成を目指す。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生	衛生専門課程	美容学科	2年(昼)	2160単位時間 (又は単位)	平成17年文部科学 大臣告示第30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	810単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1350単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
380人	127人	13人	10人	23人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 期末試験による点数評価	
長期休み	■学年始め：4月10日 ■夏 季：7月23日～8月24日 ■冬 季：12月17日～1月10日 ■学 年 末：3月9日			卒業・進級条件	卒業条件 規定の科目及び履修時間(2160時間) を全て履修する事	
生徒指導	■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 学生、保護者との三者面談			課外活動	■課外活動の種類 フェイスペイント等ボランティア ■サークル活動(有・無)	
主な就職先	■主な就職先、業界 美容室、ネイルサロン、エステサロン ■就職率100% ■卒業者に占める就職者の割合 94% <small>(平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報)</small>			主な資格・検定	美容師国家試験、ネイル検定、 メイク検定、文書処理検定	
中途退学の現状	■中途退学者 8名 ■中途退学者率 5.6% 平成27年4月1日在学者 142名(平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 134名(平成28年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学習意欲の低下 経済的理由 ■中退防止のための取組 学生本人と担任等の2者面談を随時行う。					
ホームページ	URL:http://www.mito.ac.jp					

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

就職先となる美容業界、美容所等において求められる実践的な知識及び技能、業界の動き、求められる人材の有り方、美容機器知識等実務に通じた情報を的確に把握し、それらを授業に反映させ、将来の美容所としての資質向上を目標とするために、美容関連団体や関連企業と連携を図るものである。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合 監事
堤 圭司	堤理美容商事株式会社 代表取締役社長
今井 孝	タカラベルモント (株) 北関東理美容営業所 所長
松井 忠重	(株) ティー・エム・プロジェクト 代表取締役
八文字 典昭	水戸ビューティカレッジ 学校長
谷津 久美子	水戸ビューティカレッジ 美容学科長
藤枝 恵子	水戸ビューティカレッジ 総合ビューティ学科長

(開催日時) 第1回 平成 27 年 10 月 14 日 14 : 00 ~ 16 : 00 第2回 平成 28 年 3 月 24 日 14 : 00 ~ 16 : 00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

美容分野における職業教育を行う上で、必要不可欠で根幹をなす知識及び技能の修得を様々な観点から図り、更に、将来美容業界で働くための、幅広い見識を深めることができるよう連携を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
衛生管理Ⅰ	美容師の業を通して公衆衛生の維持と増進への責務の重要性を理解させる。	有限会社 フクダベッククリニック
衛生管理Ⅱ	美容師の業を通して公衆衛生の維持と増進への責務の重要性を理解させる。	有限会社 五藤薬局
エステティック技術	基礎的なフェイシャルエステティックハンドマッサージ、フェイシャルエステティック機器トリートメント（吸引技術、パターマッサージ等）を実習する。	中村 あい子

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

美容技術として特に重要となるカットの指導をするに当たり、より実務的な授業の展開が図れるように、カット技術教育システムを授業の一環として導入し、専門学校におけるスペシャリスト育成を行うための定期的な研修を実施することとする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
阿久津 佑介	フォーリア 店長 (卒業生)
笹目 千尋	アクセスムーン 石岡店 店長 (卒業生)
市村 一志	(保護者)
小林 一弘	(保護者)
井澤 卓司	(株) 水戸警備保障 代表取締役 (地域住民)
大部 昇	スカイブルー旅行センター (株) 代表取締役 (地域住民)
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合 監事
今井 孝	タカラベルモント (株) 北関東理美容営業所 所長
堤 圭司	(株) 堤理美容商事 代表取締役
松井 忠重	(株) ティー・エム・プロジェクト 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法) URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

5. 情報提供

(情報提供の方法) URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			関係法規・制度	美容師になるために必要な知識として、法制度の概要、衛生行政の概要、美容師法（目的と構成、用語、美容師、美容所、立入検査、環境衛生監視員、行政処分、罰則等）その他の関連法規について学習する。	1 通	30		○		
○			衛生管理Ⅰ	美容師の業を通して公衆衛生の維持と増進への責務の重要性を理解させる。又、感染症の正しい知識と予防対策、そのための環境衛生の保持への関連付けを重視させ、美容業における具体的な衛生措置、消毒法の意義を理解させる。	1 通	30		○		
○			衛生管理Ⅱ	美容師の業を通して公衆衛生の維持と増進への責務の重要性を理解させる。又、感染症の正しい知識と予防対策、そのための環境衛生の保持への関連付けを重視させ、美容業における具体的な衛生措置、消毒法の意義を理解させる。	1 通	60		○		
○			美容保健	人体の構造、及び機能に対する正しい知識を理解させ、美容師にとって不可欠である鋭利な刃物や薬品などを使用することから、特に皮膚や毛髪に関する知識を理解させる。	2 通	120		○		
○			美容の物理・化学	物理の分野では、力、熱、光、電気等で美容所、美容師が使用する器具や用具に関連した知識を学び、化学の分野では化粧品等の香粧品を中心に、物質の構造、酸化還元等について学習する。	2 通	90		○		
○			美容文化論	日本の縄文時代、古代、中世、近世、近代、現代、西洋の古代エジプト、ギリシャ、ローマ、中世、近代、現代のそれぞれのファッション文化史を学び、「美容業」の歴史を理解させる。又、和装や洋装等の礼装の種類を学ぶ。トータルファッションの原理を学び、それともなう色彩のコーディネートについても学習する。	2 通	90		○		
○			美容技術理論	国家試験課題を中心に、美容用具、シャンプー、パーマ、ヘアセット、カラーなどの美容技術について、整然と筋道を立てて、説明できるように学習する。又、美容技術を行う際の美容用具に加え、薬剤や化粧料についての知識をもたせ、使用方法についても習熟させる。	2 通	120		○		
○			美容運営管理	仕事に必要な心構えから、経営者としての経営知識、マーケティング等を中心に、お店の一員として経営に参画する意義、社会人としての権利、義務など幅広く学習する。	2 通	60		○		
○			美容実習	国家試験課題の、ワインディング、オールウェーブ、レイヤーカット等の技術から、サロンワークに必要なシャンプー、カラー、ブローアレンジ等幅広い技術を学習する。	2 通	900				○
	○		コンピュータ実習Ⅰ	ワープロソフトを使用し、基礎的なビジネス文書の作成から、イラスト、写真等と使用したポスター作成、又、簡単なホームページの作成等を学習する。	1 通	60				○

○	コンピュータ実習Ⅱ	表計算ソフトを使用し、基本的な四則演算から、関数を用いたの演算、又、グラフ作成、簡単な財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の作成を学習する。	1 通	60				○
○	簿記会計	社会的に大きな役割を果たしている簿記の知識と技術について基礎的な内容を学び、企業の経営活動に伴う財産の変動等を計数的にとらえる。	1 通	60			○	
○	社会福祉	これからの社会において人の幸せを高め、豊かな心身の状況を作り出すための活動に必要な知識として、私たちの生活と社会福祉、社会保障制度の概要、社会福祉と事業の仕組みと担い手、社会福祉の分野別施策、社会福祉専門事業者等について学習する。	1 通	30			○	
○	日本文化	国語表現の学習として、漢字の読み書きを学び、その後、着付の目的、着物の各部の名称、たたみ方を学習する。また相モデルで着付けを行う。	1 通	60			△	○
○	ビジネス実務	学生と社会人との違い、企業から求められる人物像や、社会人として身に付けておかなければならない知識等を中心に、職業観、勤労観を学習する。	1 通	60			○	
○	エステティック技術	基礎的なフェイシャルエステティックハンドマッサージ、フェイシャルエステティック機器トリートメント（吸引技術、パターマッサー等）を実習を通して学習する。	1 通	60				○
○	メイク・アップ	メイク・アップの基礎、顔の形態学、色彩、道具、スキンケア、ベースメイク、アイメイク、アイブロウメイク、リップメイク、ブラッシュメイク等を相モデル形式で実習を行い、基礎知識、技術を習得する。	2 通	60				○
○	ネイル・ケア	ネイル・ケア（カットスタイルからキューティクルクリーンの技術）やカラーリング（エナメルアートの技術）を習得し、フラットアートでネイルチップを作成する。	2 通	60				○
○	ヘア・デザイン	顔のプロポーション、目、鼻、口、ヘアの描き方をトレーシングペーパーを使い綿棒やティッシュペーパーで写していく。又、好きな雑誌、写真集を使い、全体のパーツやバランスなどを考慮しながら描写する。	1 通	60				○
○	美容総合技術	シャンプーの基礎（リア・サイド）として、タオル、クロス、手の動き、泡の立て方、シャンプーの手順、ブレーンリンス、トリートメント塗布、ドライイングを相モデルで習得する。又、スタイルに合わせて、ハーフラウンド、ロールブラシを使いヘアスタイルを仕上げる。	2 通	90				○
合計			20 科目		2160 単位時間（ 単位）			